

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	静岡市立清水看護専門学校
設置者名	静岡市

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	25 単位 720 時間	9 単位 240 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

講義要綱冊子及び資料を作成し、学生へ配付している。 ホームページアドレス： http://www.city.shizuoka.lg.jp/000_003980.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	静岡市立清水看護専門学校
設置者名	静岡市

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	静岡市立清水看護専門学校教育課程編成会議
役割	静岡市立清水看護専門学校に係る教育課程の編成について、看護分野に関する専門的な知見からの意見を聴取し、もって同校の看護基礎教育の水準の向上を図る。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
現職	平成31年4月1日から 令和3年3月31日	公益社団法人 静岡県看護協会 理事
現職	平成31年4月1日から 令和3年3月31日	一般社団法人 日本看護学校協 議会理事
現職	平成31年4月1日から 令和3年3月31日	静岡市立清水病院 看護部長
現職	平成31年4月1日から 令和3年3月31日	静岡県立大学 看護学部看護学科 講師
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	静岡市立清水看護専門学校
設置者名	静岡市

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>各講義の目標及び概要、講義項目、評価方法、受講生への要望、その他の事項を記載した講義要綱を担当教員が作成しており、毎年度開始時に学生及び教職員へ配付を行い、静岡市ホームページで公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.city.shizuoka.lg.jp/000_003980.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>成績評定や各授業科目の単位認定は、静岡市立看護専門学校学則において定めており、学科試験及び実習評価による成績評価の基準は、静岡市立清水看護専門学校成績評定に関する内規で定めている。学則及び内規に基づき、運営委員会で進級認定や卒業認定を行っている。</p> <p>また、学則及び内規は学生便覧へ掲載し、学生及び教職員へ配付を行い、静岡市ホームページで公表している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

2018年度以前の入学生に対しては、授業科目ごとの成績評価を100点で算出し、取得した点数の平均を求めている。

2019年度入学生より、客観的な指標として、各科目の成績評価にGP (Grade Point) を付与し、単位数を積算したものの総和を履修単位数で割って平均した値をGPAとすることとした。

点 数	評定	グレードポイント
100点 ~ 90点	S	4
90点未満 ~ 80点	A	3
80点未満 ~ 70点	B	2
70点未満 ~ 60点	C	1
60点未満	D	0
欠席又は棄権及び履修時間数の不足		

(科目のグレードポイント×単位数) の和

$$GPA = \frac{\text{科目のグレードポイント} \times \text{単位数} \text{ の和}}{\text{科目の単位数の和}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページアドレス http://www.city.shizuoka.lg.jp/000_003980.html
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

ディプロマ・ポリシーを次のとおり定めている。

1. 専門職業人を目指すものとして社会人の基礎力を身につけている。
2. 看護倫理に基づいた行動がとれる。
3. 看護の対象を生活者として統合的に理解できる力を身につけている。
4. 対象のねがう生活の実現に向けて看護を創造していく力をもっている。
5. 保健・医療・福祉チームの一員として、多職種との連携・協働する基礎的能力を身につけている。
6. 主体的に看護を探究する姿勢を培い、自己の看護観をもっている。

これに基づきカリキュラム編成を行い、必修科目 97 単位・3000 時間を全て履修していることを卒業要件としている。また、同基準を鑑みて運営委員会に諮ることとしている。ディプロマ・ポリシー及びカリキュラムについては、静岡市ホームページで公表している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページアドレス http://www.city.shizuoka.lg.jp/000_003980.html
------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	静岡市立清水看護専門学校
設置者名	静岡市

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	97 単位 3000 時間 単位時間/単位	74 単位 1965 時間	0 単位 0 時間	23 単位 1035 時間	0 単位 0 時間	0 単位 0 時間
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		118人	0人	12人	122人	134人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各講義の目標及び概要、講義項目、評価方法、受講生への要望、その他の事項を記載した講義要綱を担当教員が作成しており、毎年度開始時に学生及び教職員へ配付を行い、静岡市ホームページで公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 2018年度以前の入学生に対しては、授業科目ごとの成績評価を100点で算出し、取得した点数の平均を求めている。 2019年度入学生より、客観的な指標として、各科目の成績評定にGP(Grade Point)を付与し、単位数を積算したものの総和を履修単位数で割って平均した値をGPAとすることとした。

点 数	評定	グレードポイント
100点 ～ 90点	S	4
90点未満 ～ 80点	A	3
80点未満 ～ 70点	B	2
70点未満 ～ 60点	C	1
60点未満	D	0
欠席又は棄権及び履修時間数の不足		

$$\text{GPA} = \frac{(\text{科目のグレードポイント} \times \text{単位数}) \text{ の和}}{\text{科目の単位数の和}}$$

卒業・進級の認定基準

(概要)

ディプロマ・ポリシーを次のとおり定めている。

1. 専門職業人を目指すものとして社会人の基礎力を身につけている。
2. 看護倫理に基づいた行動がとれる。
3. 看護の対象を生活者として統合的に理解できる力を身につけている。
4. 対象の願う生活の実現に向けて看護を創造していく力をもっている。
5. 保健・医療・福祉チームの一員として、多職種との連携・協働する基礎的能力を身につけている。
6. 主体的に看護を探究する姿勢を培い、自己の看護観をもっている。

これに基づきカリキュラム編成を行い、必修科目 97 単位・3000 時間を全て履修していることを卒業要件としている。また、同基準を鑑みて運営委員会に諮ることとしている。ディプロマ・ポリシー及びカリキュラムについては、静岡市ホームページで公表している。

学修支援等

(概要)

学年担当制を用いて、学生個々の学修状況を把握し支援している。国家試験対策では、少人数を担当するチューター制度を活用しながら支援している。

学生相談では、臨床心理士によるカウンセリングを実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	0人 (0%)	37人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)

静岡市立清水病院などの静岡市内総合病院

(就職指導内容)

主たる実習病院と連携し、キャリア講座を10月と3月に1・2年生を対象に実施。学年担当が個別面談を行いながら就職相談に応じている。

また、看護師募集の情報を、図書室前に設置し、自由に閲覧できるようにしている。
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師国家試験の受験資格 保健師学校、助産師学校への受験資格 看護系大学編入の受験資格 職業実践専門課程 専門士(医療専門課程)の称号
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
119人	3人	2.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校カウンセリングの開催、学年担当及びチューター制による学生支援、定期的な面接、随時面接、必要に応じて保護者との情報交換、学習支援		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	0円	172,000円	0円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス http://www.city.shizuoka.lg.jp/000_006639.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 静岡市立清水看護専門学校に係る自己点検・自己評価結果について、看護分野に関する専門的な知見からの意見を聴取するとともに、保護者の意見を把握し、教育活動および学校運営の改善を図る。 委員定数：4人以内 委員構成：1 看護関係団体を代表する者、2 生徒の保護者、3 市職員 評価項目：1 教育理念・目標、2 学校運営、3 教育活動、4 卒業・就業・進学 5 学生支援、6 教育環境、7 学生募集、8 財務、9 法令等の遵守 10 社会貢献・地域貢献、11 国際交流、12 教育力の向上 評価結果を受けて自己点検・自己評価委員会でその年度に取り組む改善点を明確にし、改善計画を立案、実施している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人静岡県看護協会理事	平成31年4月1日から 令和2年3月31日	看護関係団体を代表する者
一般社団法人日本看護学校協議会理事	平成31年4月1日から 令和2年3月31日	看護関係団体を代表する者
静岡市立清水病院看護部長	平成31年4月1日から 令和2年3月31日	市職員
静岡市立清水看護専門学校後援会会長	平成31年4月1日から 令和2年3月31日	生徒の保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス http://www.city.shizuoka.lg.jp/000_006639.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス http://www.city.shizuoka.lg.jp/601_000017.html
